

東京臨海部のリサイクル施設見学記

緑町三丁目町会 狩野耕一郎

今年度の運営協議会の委員研修は、首都圏の廃棄物問題の解決を目指して東京臨海部に設立された廃棄物処理・リサイクル施設を1月24日に見学しました。

2日前の大雪もまだ路上に残る中、集合場所のりんかい線東京テレポート駅に何とか到着し、「スーパーエコタウン<sup>注1</sup>見学会」のバスに委員など9名とクリーンセンター職員2名が乗り込みました。

●家電リサイクル施設(株)フューチャー・エコロジー

まず見学した(株)フューチャー・エコロジーは、テレビ・冷蔵庫・エアコンなどの家電製品のリサイクルとOA機器<sup>注2</sup>のリユースをメインとする企業で、この工場では、たった3名の社員により大型カラーテレビがプラスチック・金属類・ガラスに分別される流れを見学しました。他の家電製品やOA機器においても同様の経過で、極く少人数で処理されるとのこと。経費を節減する対策も十分のように思えました。

注1：スーパーエコタウン…東京都が、首都圏の廃棄物問題の解決と新たな環境産業の立地を促進し、循環型社会への変革を推進することを目的に、東京臨海部で都有地を活用して廃棄物処理・リサイクル施設を整備する、スーパーエコタウン事業を進めている。現在、13施設が稼働している。

注2：OA機器…オフィスオートメーション機器の省略。コピー機、ファクシミリ、コンピューターなど。



生ごみのリサイクルでできた都市ガスの貯蔵タンクを見学。

●生ごみのリサイクル バイオエナジー(株)

事業所から排出される生ごみからバイオガスを製造し、都市ガスを10%程添加して東京ガスへ送り、都市ガスとして供給するバイオエナジー(株)は、日本初の事業化成功例だそうです。武蔵野市もコンビニエンスストアなどの生ごみを、ここに搬入しています。

実際に生ごみが破碎、選別されてメタン発酵槽で30日間発酵させる工程は見学できませんでしたが、焼却とか腐葉土としての処理利用しか知らなかった委員の面々は、生ごみから都市ガスがつけられていると知り、改めて生ごみ・塵芥物から有用なエネルギーを創り出すのは資源循環型社会の形成の一助として有意義なことだと思いました。

●東京都最後の最終処分場

午後から減多に見られない中央防波堤内側埋立地内の清掃関連施設と廃棄物埋立処分場も見学しました。ここでは、23区及び東京二十三区清掃一部事務組合から委託を受けた廃棄物や、都内の中小事業者が排出する産業廃棄物の一部を埋立処分しています。海に面していますが海とは遮断され、環境に配慮した管理型最終処分場ということでした。今後埋立てを予定されている新海地区は最後の埋立地で、その後はないそうです。

以上、今回の委員研修も大変意義のある研修でした。

\* 編集後記 \*

運営協議会では委員研修があります。ごみは分別により、最終的に行き先がどう変わっていくか、また活かされていくのか、考える良い機会になります。今回、中央防波堤外側処分場と内側埋立地清掃関連施設を見て来ました。埋立地は有効利用する場所にはなりますが、廃棄物の行き先が気になり、複雑な思いになりました。新クリーンセンターとともに考えていく課題はまだあります。(島森和子)

編集・発行/武蔵野クリーンセンター運営協議会

〒180-0012 武蔵野市緑町3-1-5 武蔵野クリーンセンター内  
電話：0422-54-1221

●武蔵野市ホームページ

<http://www.city.musashino.lg.jp/>

\*この広報は、再生紙を使用しています。

# 武蔵野クリーンセンター 運営協議会 だより 69

武蔵野クリーンセンター運営協議会とは

1984年施設建設時に地域住民の安全と権利を守るために設置された周辺住民3団体が参加するクリーンセンター運営の監視役。

## 新しいクリーンセンターとまちづくり ＜市民参加で検討する施設・周辺整備協議会＞

●市民参加の施設・周辺整備協議会

新武蔵野クリーンセンター(仮称)施設・周辺整備協議会(以下略して周辺協議会)は、クリーンセンター建て替えについて「施設の備えるべき機能」「周辺まちづくり」などを、周辺住民を含む市民参加で協議する場として、平成22年発足の第一期から現在の第四期まで、約8年間議論を重ねてきました。

●基本方針と3つの検討エリア

周辺協議会は、施設・周辺整備の3本の基本方針、「低炭素社会<sup>注1</sup>のモデルの実現」「地域力の向上」「まちづくりとの連携」を柱に、3つのエリアに分けて議論してきました。

一つは、新クリーンセンターの敷地内における工場棟・新管理棟・芝生広場・エコプラザ(仮称)の整備(旧事務所棟・プラットホームを再利用した環境啓発施設)などの「施設整備」です。二つ目は、新クリーンセンターと敷地内に隣接する野球場・テニスコート・緑町コミュニティセンターを含む「市役所北エリア」。三つ目は、市役所北エリアを中心としたその外側の地域の「周辺まちづくり」です。

注1：低炭素社会…地球温暖化の原因とされる二酸化炭素などの排出を、産業構造やライフスタイルを変えることで、大幅に低くした社会。例えば、省エネ、マイバック持参、太陽光発電の設置など。

CONTENTS

- P1…新しいクリーンセンターとまちづくり  
市民参加で検討する施設・周辺整備協議会
- P2…市役所北エリアの課題
- P4…東京臨海部のリサイクル施設見学記  
平成29年度活動報告



●現在の検討と今後

平成29年2月発足のエコプラザ(仮称)検討市民会議(以下略してエコプラザ市民会議)に向けて、周辺協議会ではエコプラザ(仮称)の検討を優先させ、「エコプラザ(仮称)事業のあり方中間のまとめ」を作成し、同年2月にエコプラザ市民会議に提案しました。

その後、第四期の周辺協議会では、作業部会でタウンウォッチングや視察をしながら議論を重ね、「市役所北エリア」「周辺まちづくり」の順に進められています。今後は、エコプラザ市民会議の検討と調整しながら、平成30年内に報告書をまとめる予定です。

3つの検討エリア



# 市役所北エリアの課題

周辺協議会では、「市役所北エリア」について、北エリアをタウンウォッチングして課題を確認し、周辺地域の要望などを加えて作業部会で課題を整理し、エコプラザ(仮称)の利用も考慮しながら、議論を重ねてきました。市役所北エリアは、周辺住民にとって非常に大切な地域であり、クリーンセンターとエコプラザ(仮称)が利用しやすい施設になるために、暮らしよく、開かれたエリアになるよう望まれます。

周辺協議会は、現在、「市役所北エリア」の課題と提案をまとめています。今後は、さらに広く「周辺まちづくり」について議論が進められます。

## 西側の歩道周辺

●緑町コミセン北側と緑町ふれあい広場を一体化して、使いやすくしたい。

課題解決のためには

- ▶ 植栽をなくして、緑町コミセンと緑町ふれあい広場を一体的に使えるようにする。
- ▶ 駐輪場の共同利用など、テニスコートとの連携が図れないか。

●桜の街路樹が大きくなり、歩道が狭くなっている。自転車や乳母車、車いすなど、すれ違いにくい。

課題解決のためには

- ▶ 歩道の幅を1m広げる。

●エコプラザの建物は、旧事務所棟とプラットフォームを減築して再利用する計画だが、入口は使いやすい動線に。

課題解決のためには

- ▶ ごみピット投入扉を改修して、芝生広場への出入口を設置。
- ▶ プラットホームと事務所棟エントランスの壁を抜いて出入口を設け、通り抜けできるようにする。
- ▶ 今までのプラットフォームの南側と北側の出入口は活かす。

●利用しやすいように、エコプラザ(仮称)の入口や芝生広場への動線を作る。

課題解決のためには

- ▶ 南西の角に出入口を設置して、パークタウン北の交差点からスロープで降りられるようにする。

●樹木がうっそうとしている。桜の根が上がり、歩道を広げることが難しい。

課題解決のためには

- ▶ 樹木を整理して、見通しよく開放的にする。

## 市道41号線周辺

●低木やツツジなどのために園路とテニスコートの間が、死角になっている。

課題解決のためには

- ▶ ツツジはすべて撤去して見通しをよくする。

●地域のお祭りを行う際に課題になる点

狭くて自転車の通行と交錯。植え込みの縁石が高い。

課題解決のためには

- ▶ 市道41号線に自転車走行帯または自転車ナビマークを設置し、自転車がランニングコースに流入しないようにする。
- ▶ 段を取り、遊歩道の幅を広くする。

●雨の日は水たまりができるランニングコース

課題解決のためには

- ▶ 透水性でランニングに支障がない、景観に優れている素材を使って舗装する。
- ▶ 市道41号線脇にあたる植え込みを整理し、ランニングコースの幅を広げて、歩行者とランナーが円滑に利用できるようにする。

●道路沿いのマテバシイがうっそうとして暗い。

課題解決のためには

- ▶ 外周植栽マテバシイを剪定。かつては砂防、防塵としての役割があったが、クリーンセンターが東側に移り、不要になった。

●吉祥寺北町からの入口は、上り勾配で自転車は入りづらい。車道側を走ると途中で入れず危ない。出際に自転車のスピードが増す。

課題解決のためには

- ▶ パイプガードの設置もあり得る。北東部入口脇の植え込みの高さを低くして、見通しをよくする。

●中央通りの歩道と高低差があり、閉鎖的である。

課題解決のためには

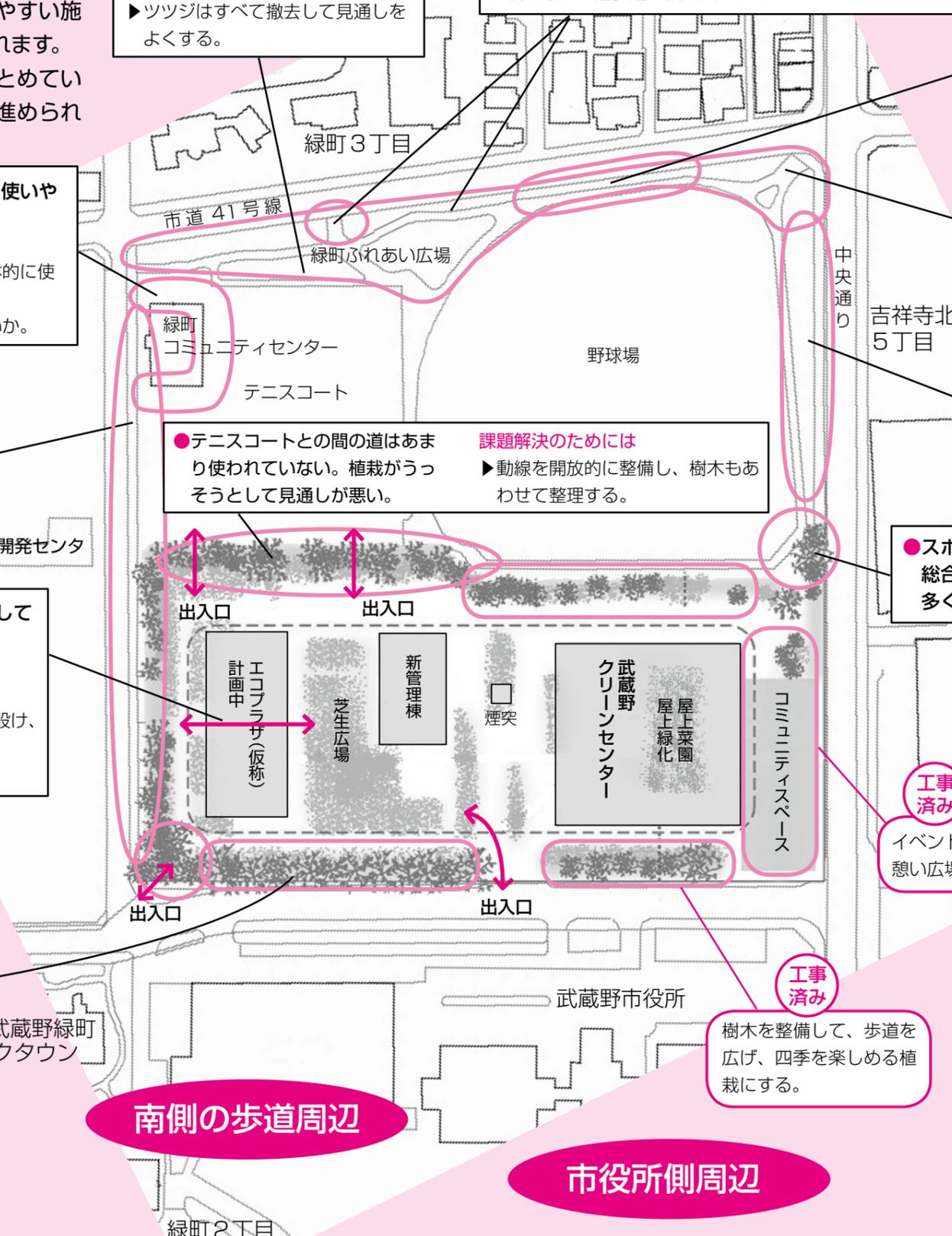
- ▶ 東側の植え込みを花壇にして、中央通り側からも花を楽しめるようにする。

●スポーツ施設(野球場の入口)は、総合体育館からの斜め横断者が多く危険である。

## 中央通り周辺

## 南側の歩道周辺

## 市役所側周辺



工事済み

イベント開催もできる憩い広場に。

工事済み

樹木を整備して、歩道を広げ、四季を楽しめる植栽にする。

平成29年6月エコマルシェの様子

